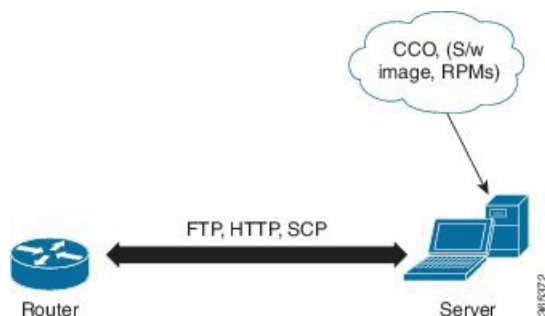




自動依存関係管理

フレキシブル パッケージでは、自動依存関係管理がサポートされます。RPM の更新中に、関連するすべての依存パッケージがシステムによって自動的に特定され、更新されます。

図 1: インストール フロー (基本ソフトウェア、RPM、および SMU)



このリリースまでは、ユーザはネットワーク サーバ (リポジトリ) 上の CCO からソフトウェア イメージおよび必要な RPM をダウンロードしていました。また、**install add** コマンドおよび **install activate** コマンドを実行して、ダウンロードしたファイルをに追加し、それらでアクティブ化していました。さらに、関連する依存 RPM を手動で特定し、追加およびアクティブ化する必要がありました。

自動依存関係管理を使用すると、ユーザ側で依存 RPM を特定し、個別に追加およびアクティブ化する必要がありません。また、依存 RPM を自動的に特定し、インストールする新しいインストール コマンドを実行できます。

新しいコマンドは **install update install source** および **install upgrade** です。**install update install source** コマンドは、依存パッケージを特定し、更新します。このコマンドは、基本パッケージを更新しません。**install upgrade** コマンドは、基本パッケージをアップグレードします。

これ以降で説明する内容は、次のとおりです。

- [RPM と SMU の更新 \(2 ページ\)](#)
- [基本ソフトウェア バージョンのアップグレード \(3 ページ\)](#)

RPM と SMU の更新

RPM には特定の不具合に対する修正が含まれており、その修正でシステムを更新する必要があります。RPM および SMU を新しいバージョンに更新するには、**install update install source** コマンドを使用します。特定の RPM に対して **install update install source** コマンドが発行されると、ルータによりリポジトリとの間で通信が行われ、RPM がダウンロードされてアクティブ化されます。依存関係にある RPM がリポジトリにある場合、ルータによってその RPM が特定され、インストールされます。

install update install source コマンドの構文は次のとおりです。

install update source install source リポジトリ **[rpm]**

install update install source コマンドは、次の 4 つの方法で実行できます。

- パッケージ名を指定しない。

パッケージ名を指定しないと、すべてのインストール済みパッケージがコマンドによって最新の SMU で更新されます。

```
install update source install source [repository]
```

- パッケージ名を指定する。

パッケージ名を指定すると、そのパッケージがコマンドによってインストールされ、依存関係とともにそのパッケージの最新の SMU で更新されます。パッケージがすでにインストールされている場合、そのパッケージの SMU だけがインストールされます（すでにインストールされている SMU は、スキップされます）。

```
install update source install source [repository] ncs560-mpls.rpm
```

- パッケージ名とバージョン番号を指定する。

パッケージの特定のバージョンをインストールする必要がある場合、完全なパッケージ名を指定します。このパッケージは、リポジトリにあるパッケージの最新の SMU とともにインストールされます。

```
install update source install source [repository]  
ncs560-mpls-1.0.2.0-r662.x86_64.rpm
```

- SMU を指定する。

SMU を指定すると、その SMU は依存関係にある SMU とともにダウンロードおよびインストールされます。

```
install update source install source [repository]  
ncs560-mpls-1.0.2.1-r662.CSCub12345.x86_64.rpm
```

基本ソフトウェアバージョンのアップグレード

基本ソフトウェアは、新しいバージョンが利用可能になった場合に、そのバージョンにアップグレードできます。基本ソフトウェアを最新バージョンにアップグレードするには、**install upgrade** コマンドを使用します。ベースバージョンをアップグレードすると、ルータで現在利用可能な RPM もアップグレードされます。



(注) SMU は、このプロセスの一部としてアップグレードされません。

install upgrade コマンドの構文は次のとおりです。

install upgrade source repository version version[rpm]



(注) データポート上の VRF および TPA はサポートされません。デフォルト以外の VRF インターフェイスを介してしかサーバにアクセスできない場合、ファイルは、ftp、sftp、scp、http、または https プロトコルを使用してすでに取得しておく必要があります。

install upgrade コマンドを使用するのは次の場合です。

- バージョン番号を指定する

基本ソフトウェア (.mini) は、特定のバージョンにアップグレードされます。すべてのインストール済み RPM も、同じリリースバージョンにアップグレードされます。

install upgrade source[repository] version <release-number>

